

中国と日本を結ぶ季刊誌

かけはし

季刊 2016年夏・創刊号
2016年7月1日発行(第1巻第1号)

60年目の里帰り

梅蘭芳氏訪日時の日本側スタッフ、60年前の資料を寄贈

世界無形文化遺産 ～中国の端午節～

中国的「こどもの日」の過ごし方
キッズパワー全開!

CRIへようこそ

中国国際放送局（China Radio International・北京放送）は、中国三大国営放送（中央電視台・中央人民放送局・中国国際放送局）の一つであり、唯一海外への放送を行う国際放送局です。

中国の共通語及び4つの方言を含めて65種類の言語を用い、首都北京から約200ヶ国に向けた放送を行っています。現在は短波ラジオのほか、国内向けFM放送・多言語ウェブサイト・テレビ・紙メディアなどをはじめ、映像番組の翻訳や吹き替えなど、多角的コンテンツの開発と放送業務を展開しています。

開局以来75年、「世界に中国を紹介し、中国に世界を紹介し、世界に世界を報道し、中国の人々と世界の人々との理解と友情を深める」をモットーに、「中国の立場・世界的視野・全人類への思いやり」をコンセプトに、日々情報発信を続けています。



■ 発行人ごあいさつ

『かけはし』新創刊にあたって

■ 王丹丹

2016年6月末の時点で、中国国際放送局（CRI）日本語部が運営しているFacebook公式アカウントのフォロワー数は85万人を突破しました。今年の目標はズバリ「目指せ！100万人」です。

ソーシャルネットワーク全盛の時代に突入した今、如何に伝統的なラジオ放送に時代に合った新しい伝達手段を導入し、古いリスナー層のご愛顧に答えると共に新しい視聴者を惹き付け、全世界に注目されているこの古くて新しい中国を全方位に発信していくかということ、私自身を含め、日本語部全員が常に考えている問題であり、日頃から試行錯誤を重ね、様々な試みを繰り返してまいりました。

季刊として発行するこの『かけはし』の原型は、10年程前に創刊されたものです。日本に住むリスナーとの連絡のツールとして幅広く利用させていただきました。前の『かけはし』は、部内の限られた予算を利用して、カラー印刷の新聞の形でリスナーの皆様提供してまいりました。

ですが、この10年間に、CRI日本語部の事業内容は大きく変化しました。多くの先輩たちが定年退職し、若手アナウンサーやウェブ編集者を迎えるなど、人員の入れ替

わりはもちろんのこと、毎日新しく制作・提供する番組時間の延長や、インターネットコンテンツの充実、動画制作、Facebook／微博（ミニブログ）／微信（Wechat）等、ソーシャルネットワーク（SNS）を活用した情報発信、書画展等オフラインイベントの開催による対面での訴求など、技術の進歩による情報授受の手段の変化に応じて、日々その姿を変え続けています。

そしてこの夏、『かけはし』も大きな転換の時を迎えることになりました。ウェブサイトやスマートフォンを通じて気軽に閲覧可能な電子マガジンの提供も視野に入れ、この夏季号からは従来の新聞形式から、このような雑誌の形に衣替えしてみました。今後、私たちのデザイン力と編集力を最大限に生かし、マルチメディアを利用した良質なコンテンツと、多角化したプラットフォームを提供し、皆様と一緒に新しいアイデアと可能性が満ちあふれる時代を迎えたいと存じます。この雑誌を手にとっただけでもお楽しみを賜りますようお願い申し上げます。




■ 王丹丹（おう・たんたん）

1997年入局。

2001年から2003年まで、日本駐在特派記者として東京勤務。帰国後、記者、キャスター、番組編集者などを担当。2005年、ラジオ番組「ポプラが語る物語——中国にある唯一の日本人集団墓苑」が「中国報道賞」金賞を受賞。2009年から2013年まで人事部に配属。2013年、日本語部部長に就任、現在、東北アジア中央アジアセンター副主任兼日本語部部長。

かけはし

季刊 2016年夏・創刊号
2016年7月1日発行(第1巻第1号)

目次

北京放送とリスナーをつなぐ「かけはし」として創刊された新聞「かけはし」が、雑誌としてリニューアル。より多くの情報を載せ、ラジオ、インターネットに次ぐメディアとして、中国のいまを伝えます。

03 60年目の里帰り

梅蘭芳氏訪日時の日側スタッフ、60年前の資料を寄贈

06 和して同ぜず

「東北アジア書画展・2016東京」が開催

08 世界無形文化遺産めぐり

世界無形文化遺産～中国の端午節～

10 夏の養生

夏を乗り切るライフスタイルとは?

11 百家姓(苗字)物語

「趙」のはなし

12 漢詩歳時記

「詠茶(茶を詠ず)」 蘇軾

14 文字で見る「北京の表情」

「こどもの日」の過ごし方: キッズパワー全開!

16 話 はなし 噺 HANASHI

夏の山、そして李白の詩

18 日本人スタッフのつぶやき

夏と言えば串焼き!

20 人物辞典

陸上競技選手・劉翔

22 新語で知る中国事情

キーワードチャイナ

24 イチオシ中国映画・中国音楽

24-25 映画編 26-27 音楽編

28 CRI「紅白歌比べ」40周年記念特別企画「中日歌唱コンテスト」出場者大募集!



14

「かけはし」編集委員会

発行人 王丹丹

編集人 周 莉

編 集 潘 圓

王 帥

かけはし編集部

中国北京市石景山区石景山路甲16号

中国国際廣播電台日本語部内

電話 +86 10 6889 1272

eMail riyubu@cri.com.cn

URL Japanese.cri.cn



60年目の里帰り

梅蘭芳氏訪日時の日本側スタッフ、60年前の資料を寄贈

■王小燕

1956年、梅蘭芳氏(故人)が率いる京劇訪日団の日本公演時、日本側スタッフの一員であった稲垣喬方氏(85)が北京を訪問、5月11日、当時の資料数百点を北京護国寺街にある梅蘭芳記念館に寄贈しました。

「60年間温めてきた宝だ。今日は娘を嫁がせる気持ちで梅蘭芳記念館に寄贈する。良い嫁ぎ先が見つかったので、とても嬉しい。」

厚さにして約8センチの資料を秦華生館長に手渡すと共に、稲垣さんは微笑み

ながら胸中の思いを語りました。

これら資料には、1955年、市川猿之助が率いる大歌舞伎訪中公演時のもの、またその翌年、日本側の招きに応じ、梅蘭芳氏が率いる京劇団体の訪日公演前後の中日双方における新聞報道、舞台裏の写真、梅蘭芳氏や同じ京劇役者である娘

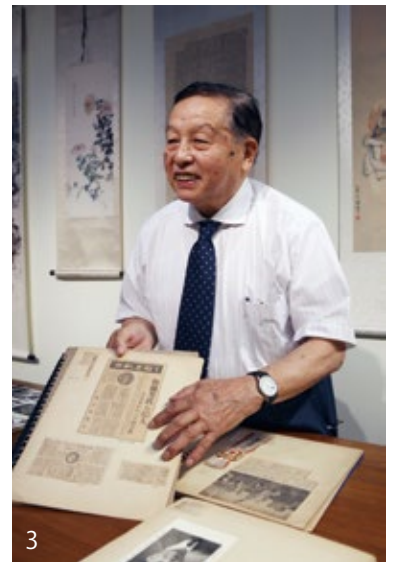
の梅葆玥女史・息子の梅葆玖氏からもらった記念写真、上演演目の紹介パンフレット、中日のスタッフ同士の往来書簡などが含まれています。中には、訪日団帰国後、梅蘭芳団長と劇作家の欧阳予倩副団長二人のサイン入りの礼状も。これまでは、稲垣さん個人所有のものとして、60

「今日は娘を嫁がせる気持ちで梅蘭芳記念館に寄贈する。良い嫁ぎ先が見つかったので、とても嬉しい」

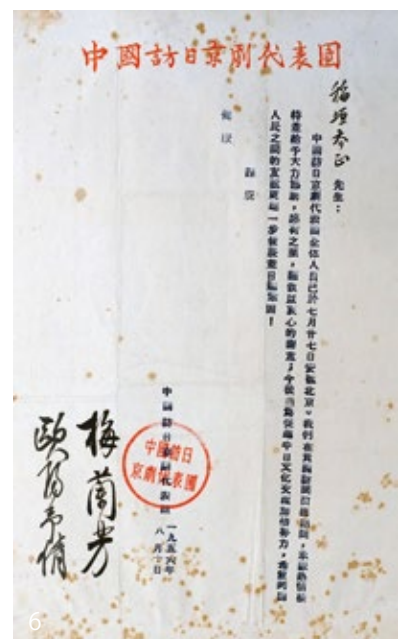
年余りにわたり自宅で丁重に保管されてきた資料ですが、「自宅で眠っているよりは、もっとたくさんの方たちに当時のことを知ってほしい。その一助になれば嬉しい」と、寄贈にあたり、その思いを語られました。

梅蘭芳記念館では、玄関口にある梅蘭芳氏の大理石像をバックに、資料の寄贈式典を執り行いました。梅蘭芳氏のひ孫で、同記念館文化保護センター副主任の梅玮さんは、「たいへん貴重な価値がある。とりわけ、日本側の関連報道を大変まとまった形で収集されている点をありがたく思っている。中国側の報道を中心に収集した記念館側資料への良い補充になる。中には、初めて見た資料もある」と稲垣氏と厚い握手を交わしながら、感謝の気持ちを述べました。

秦華生館長は寄贈証書を渡し、「これらの資料は今後、デジタル化による整理や、中国語への翻訳作業を進め、その成果を公に発表していく」と語りました。



1. 梅蘭芳像をバックに行った贈呈式
2. 稲垣さんのアルバムから、梅团长(左1)、歐陽副团长(車椅子)と休憩場に会話を交わす稲垣さん(右2)
3. 当時、父親の協力も得て収集した新聞のスクラップを説明する稲垣さん
4. 1955年大歌舞伎訪中のプログラム表紙
5. 1956年中国訪日京劇代表団プログラム表紙
6. 梅团长と欧陽副团长のサイン入り礼状



京劇の名優梅蘭芳氏(1894-1961)は、1919年・1924年・1956年の三回にわたって訪日公演し、中日の文化交流に不滅の功績を残しています。その初訪日から百周年にあたる2019年に、日本で一連の記念行事を行う企画が決まった矢先に、梅派の传承人であり、末子の梅葆玖氏が、惜しくもこの4月26日に82歳でこの世を去りました。ひ孫の梅玮さんはこれについて、百周年記念計画は予定通りに行い、稲垣氏から寄贈された資料もその一部として有効利用すると語りました。

なお、写真家、現代表装の専門家としても知られる稲垣氏は、1930年東京生まれ。1942年から1946年にかけて、両親と共に北京で少年時代の4年間を過ごし、その期間、中国文化を深く愛する母親、書家稲垣黄鶴女史の影響を強く受けて育ちました。日本の敗戦で帰国後は、宝塚劇場での見習いを勤め、歌舞伎座の復活後は、同劇場の裏方スタッフとして勤務。少年期、北京滞在歴があるからと、1955年には大

歌舞伎訪中団の舞台美術と大道具スタッフとして勤務。少年期、北京滞在歴があるからと、1955年には大歌舞伎訪中団の舞台美術と大道具スタッフとして抜擢され、先遣隊として中国に入り、北京・上海・広州公演の全行程に参加。翌年の京劇の訪日公演でも、同じ担当で東京・大阪・京都・福岡の全日程に同行しました。

最後に、稲垣氏は、60年余り前の大歌舞伎と京劇の相互訪問の今日的意義をこう語ってくださいました。

「日中両国に国交もなかった中、よく実現した公演だったと思う。両国の関係者が平和と友好のメッセージを相手国に届けたい一心で実らせた企画だった。逆に言うと、あのような状況の中でも、あれだけの行事ができたので、今後はそれ以上に凄いイベントができるはず。これからも日中ががっちり組んで、互いの長所を取り合って共に成長してほしい。」



■王小燕
(おう・しょうえん)

1999年入局。

日本語部では火曜日の番組を担当。毎週ネットで更新している「CRIインタビュー」では、中日両国の交流に関わる各界の方たちにじっくりお話を伺います。

安徽省出身。北方工業大学日本語専攻卒、北京外国語大学日本学研究中心修了。

趣味は水泳、スキー、旅行。



大歌舞伎訪中時の中国側スタッフが1956年春に稲垣さん宛てに書いた書簡



和して同ぜず

東北アジア書画展・2016東京が開催

■文化交流執行委員会

中国国際放送局東北アジアセンターと国際オンライン・書画チャンネル共催による「和して同ぜず・東北アジア書画展・2016東京」が4月25日から30日にかけて、上野にある東京美術館で開催されました。「全日中展・東京国際美術展」の重要な一部分として、全日本中国水墨画芸術家連盟及び日中協会の協力とサポートの下、約50点余りの作品が展覧されました。

25日の開幕式には中国駐日本大使館文化部代表、日本の外務省、全日本中国水墨画芸術家連盟代表及び中日の書画家の代表ら約100人余りが出席しました。出展芸術家の代表である「西泠社」の陳南璋氏、全日中展友好大使でもある著名

デザイナー木暮照子女史、全日中展顧問である元民主党代表の海江田万里議員、著名な書画家でもある国際書画協会の阿部風木子会長、全日中展の最高顧問である村山富市元首相らがそれぞれ発言し、文化分野における中日間の交流や両国の友好に期待を示しました。

中国の書画家らはその後、東京芸術大学や静岡県立沼津西高校を訪れ、交流活動を行い、また、静岡県庁への表敬訪問も実施しました。その後、高野山を訪問し、遣唐使時代から伝わる唐代スタイルの建築、彫刻、磁器などを見学しました。

活動終了後、参加者からは「今回のイベントは文化の交流だけではなく、文化

の展示、推進、及び芸術の学習と理解も含まれていた。私たちにとって、自国の文化を深く知る機会であっただけでなく、中華文化の誇りも強く感じた」との感想が聞かれました。

「和して同ぜず」東北アジア書画展

東北アジアに位置する五カ国(中国・日本・韓国・朝鮮・モンゴル国)の芸術家の作品交流を通じ、アジア文化のルーツを考えるとともに、各国の文化の発展の歴史や特徴などを多くの方に理解してもらうことを目的とする国際展覧会です。中国国際放送局の企画・主催により、2015年9月から中国・日本・韓国・モンゴルの各地で展開されています。

和して同ぜず

- 1.全日中展最高顧問の村山富市元首相(中央)がCRI記者のインタビューに答える
- 2.会場で国際オンライン・書画チャンネルディレクター蔣亦欖さん(左)が日中協会の白西紳一郎理事長(右)へ記念の書を贈呈。中央は全日本中国水墨芸術家連盟運営代表・宇俊之さん
- 3.中国の「大篆」の文字を判別する全日中展顧問・元民主党代表の海江田万里さん
- 4.国際書画協会の阿部風木子会長はご来賓に作品を説明
- 5.揮毫を披露する中国の画家・呉齊さん





湖南省汨羅市・屈原祠

中国の世界無形文化遺産めぐり

世界無形文化遺産 中国の端午節

■任春生

中国では、旧暦5月5日に伝統的祝日「端午節」を迎えます。日本では、端午の節句の名称でおなじみの中国の端午節は、2006年、中国で国家級無形文化遺産に認定され、2009年9月には世界無形文化遺産に登録されています。

二千五百年余りの歴史をもつ端午節は、春秋時代の偉大な詩人・屈原(くつ・げん)を偲び、祭ることから始まりました。屈原は紀元前3世紀の中国、楚の国王の側近だったとされる人物です。屈原は人望を集めた政治家でしたが、政争に巻き込まれ失脚し、流刑の憂き目に遭いました。都を遠く離れた場所にいる時、楚国が秦国に攻

め落とされた事を知った彼は、汨羅(べきら)江という川に身を投げました。それを知った楚の国民たちは、川に船をだし、屈原の遺体を探し、また、魚が屈原の遺体を食べないようにと、粽を川に投げ込んだのです。

それ以降、現地の人々は、屈原の命日である毎年旧暦の5月5日になると彼を祀り、粽を包み、川で船を漕ぎました。これが今のドラゴンボートレースとなり、粽を食べる習慣となり、全国に広がったのです。

端午節では、粽のほか、この行事に伴う食品が沢山作られます。例えば、塩漬けのアヒルの卵、青菜の一種であるヒユナの

炒め物などです。この日に塩漬けのアヒルの卵を食べれば、その夏中、汗疹ができず、頭痛にならないといわれます。また、ヒユナを食べれば、熱中症を予防し、お腹を壊さないともいわれます。端午節の食べ物は、病気を防ぎ、健康に夏を過せるものと信じられています。

今年は6月9日が中国の端午節にあたります。本場のドラゴンボートレースや粽に興味をお持ちの方は、是非、この日にあわせて、湖南省汨羅県まで足をお運び下さい。



屈原その人

屈原(紀元前343年頃—紀元前278年頃)は、戦国時代の楚国の政治家で詩人。

楚の武王の公子瑕(屈瑕)を祖とする公室系(広義の公族)の1人であり、その家柄に加え、博聞強記で詩文にも非常に優れていたため、懐王の信任が厚く、賓客を応接する左徒となりました。

当時の楚国は、西の秦国とどう向き合っていくかが主要な外交問題であり、楚国の外交方針について臣下は二分していました。一つは、西にある秦国と同盟することで安泰を得ようとする親秦派(楚国における連衡説)であり、もう一つは、東の斉国と同盟することで秦国に対抗しようとする親齊

派(楚国における合従説)でした。その中で、屈原は親齊派の筆頭。屈原の政治能力は当時の楚国では群を抜いていましたが、非常に剛直な性格のために同僚から嫉妬され、讒言を受け、楚王の傍から遠ざけられ、同時に国内世論は親秦派に傾いていきました。

屈原は秦国が信用できないと必死で説いていましたが、結局楚王には受け入れられませんでした。結果、屈原の心配どおり、楚の懐王は秦国の謀略家張儀の罠にかかり、楚軍は大敗。丹陽、藍田の大敗後、一層疎んぜられて公族子弟の教育役である三閭大夫へ左遷され、政権から遠ざけられました。

秦国は懐王に婚姻を結ぼうと持ちかけ、秦国に来るように申し入れました。屈原は「秦は信用できない、先年騙されたことを忘れたのか」と諫めましたが、懐王は親秦派の公子子蘭に勧められて秦に行き、秦に監禁されてしまいます。

王を捕らえた楚国では、頃襄王を立てました。頃襄王の令尹(丞相)に屈原が嫌いぬいた子蘭が就任したため、屈原は更に追われて江南へ左遷されます。その後、

秦国の侵攻により、楚国の首都・郢が陥落したことで楚国の将来に絶望し、石を抱いて汨羅江に入水自殺しました。

屈原の強烈な愛国の情から出た詩は楚の詩を集めた「楚辞」の中で代表とされ、その中でも代表作とされる「離騷」は後世の愛国の士から愛されています。



■任春生

(にん・しゅんせい)

2003年入局。

中国の世界遺産巡り、中国の世界無形文化遺産巡りなどのシリーズ番組を担当、中国の歴史と文化を紹介。現在は番組「中国の旅・デラックス」を担当。中国五千年の歴史、素晴らしい文化、名山、名水、観光スポット、グルメ、少数民族の生活や風習など、中国のあれこれを徹底的にご紹介します。

江蘇省塩城市出身。南京農業大学日本語科卒、北京外国語大学日文学研究センター修了。



【夏の養生】

夏を乗り切るライフスタイルとは？

■劉淑琳

夏になると、暑さという大きな外的ストレスがきっかけで、自律神経が乱れてしまい、胃腸の障害を招きやすくなります。いわゆる夏バテです。そのため、夏の養生には適度に心身を調整するよう心がける必要があります。中医学の理論では、「天人合一(自然界との一体性)」を重んじ、心身ともにバランスの取れた状態に整えることに重点がおかれます。

日々の起床、飲食、活動、睡眠などはいずれも人体の新陳代謝に影響を与えます。正しい時間に正しい事をするだけで、体は軽やかになり、夏の食欲不振や夏バテを防ぐ一方、ダイエットにもつながります。では、この季節に最適なヘルシーなライフスタイルとは、どのようなものなのでしょう。ここで一つ一つご紹介していきます。

＜起床後に水を飲む＞

起床後に水を少なくとも2杯(500ml ぐらい)飲むことは、就寝中に失った水分を補給し、代謝を促し、体のデトックス代謝に働きかけ、体内に溜まった老廃物を排出するのに役立ちます。

＜早朝には軽く運動＞

起床後30分は積極的に体を動かすべきです。早朝の運動は体内の脂肪をより効果的に燃焼させ、新陳代謝を促します。運動強度を求める必要はなく、屋外での散歩が一番のお勧めです。

＜温かいお茶を飲む＞

冷たい飲み物より、温かいお茶を飲むことが心身の疲労回復につながります。医学の研究では、飢えと渇きは脳の総合中枢である視床下部を中心に感じるものとされます。日中、渇きと飢えを感じたときは、ジャンクフードに手を伸ばしがちですが、この時間帯に温かいお茶やブラックコーヒーなどを飲むと、渇きをいやし、満腹感をより長い時間保つことができる上、ダイエットの効果も果たしてくれます。

＜昼寝をする＞

中医学の理論では、正午12時—午後2時までの間は体内の陰・陽の気の交替時刻にあたり、体が一番弱く、倦怠感がよりいっそう感じられます。そこで、15-20分ぐらいの昼寝をすると、体が急速に充電されるほか、夜間の睡眠の妨げにもならず、正常な新陳代謝の維持も助けることになります。

＜午後の有酸素運動＞

午後4時—8時は少量の有酸素運動を行うことが体に有利に働くようです。この時間帯の身体機能は一日の最高の状態にあり、筋肉増強に有益とされ、この時間帯のワークアウトや有酸素運動はほかの時間帯より効果的とか。

＜寝る前に牛乳を飲む＞

寝る前は牛乳かヨーグルト、もしくは低脂肪乳をある程度摂ることをお勧めします。空腹で深夜に起きることを避けるほか、脳のメラトニン分泌を助け、睡眠の質を改善します。

＜電気製品を絶つ＞

午後9時以降はテレビ、パソコン、携帯電話などの家電製品から離れましょう。放射する青色光が睡眠に影響します。就寝前は読書や風呂のほか、寝室の灯りを暗くすると、安眠につながります。

■劉淑琳

(りゅう・えいりん)

2002年入局。ニュースキャスターのほか、毎週月曜日の番組を担当。「ライフマガジン」やネット更新中の「いきいき中国」で、最新のライフスタイルから、昔ながらの懐かしい暮らしまで、「生」の中国をお届けしています。

雲南省出身。北京第二外国語大学大学院日本語専攻修了。



百家姓(苗字)物語

「趙」のはなし

■張怡康

使用人口:2600万
人口ランキング:8位

諸説ありますが、「趙錢孫李周呉鄭王」とリズムカルに始まる中国の苗字を記録した書籍『百家姓』は、北宋(960~1127年)の初めのころ、杭州のある人が、馴染みのある姓を504集めて、中国の伝統教育の過程で子供らに漢字を教えるために作った学習書の1つです。その中には、中国の代表的な姓が羅列されています。

このコーナーでは、『百家姓』の本に書かれた苗字を取り上げて紹介しています。今回は、本の中に書かれた最初の苗字「趙」です。

百家姓のトップに挙げられた趙という苗字の源は、秦の始皇帝も使う苗字「嬴」から来たものです。彼の祖先の中に、「造父」という人がおり、西周時代の第5代王「穆王」の御者を務めていました。「造父」は乗馬の達人で、8匹の千里の馬を操って、2日間に1000キロ走ったという伝説があります。今の時代だと間違いなくスピード違反ですが…でもこの腕前が穆王に気に入られ、趙の城(城は街を指す・今の山西省北部)を贈与されたということで、秦の始皇帝を含む「造父」の子孫が趙という苗字を使うようになりました。

今では漢民族以外にも、少数民族のモンゴル族、壮族や瑶族などにも趙の苗字を名乗る人が沢山存在します。趙姓の使用人口は中国人口総数の2.6%を占めていて、人数では2600万人、人口ランキングでは第8位を占めています。最初は山西省と山東省に多くいましたが、その後、河北省、河南省、湖北省、甘粛省へと拡大していき、三国時代には大規模に南遷し、最終的に全国に広がったとされています。

【関連知識】

趙に纏わる四字熟語——「一意孤行」

これは趙という苗字を持つ人から来た四字熟語です。

前漢の時代に、趙禹という役人がいました。彼は裏口取引を一切許さない忠実かつ廉潔な役人で、どんなに偉い人でも、不正な頼み事があれば必ず断る人だったため、「一意孤行」、つまり原則を堅持し、自分の意思で正しいことをする人だと、周りの人から評価されたことに発する四字熟語とされます。

しかし、このいい意味で始まった四字熟語も、時代が変わり、良くない意味を表す四字熟語となり、今では「人の意見を聞かずに、自分の考えを推し進める人」の事を意味するようになっていきます。

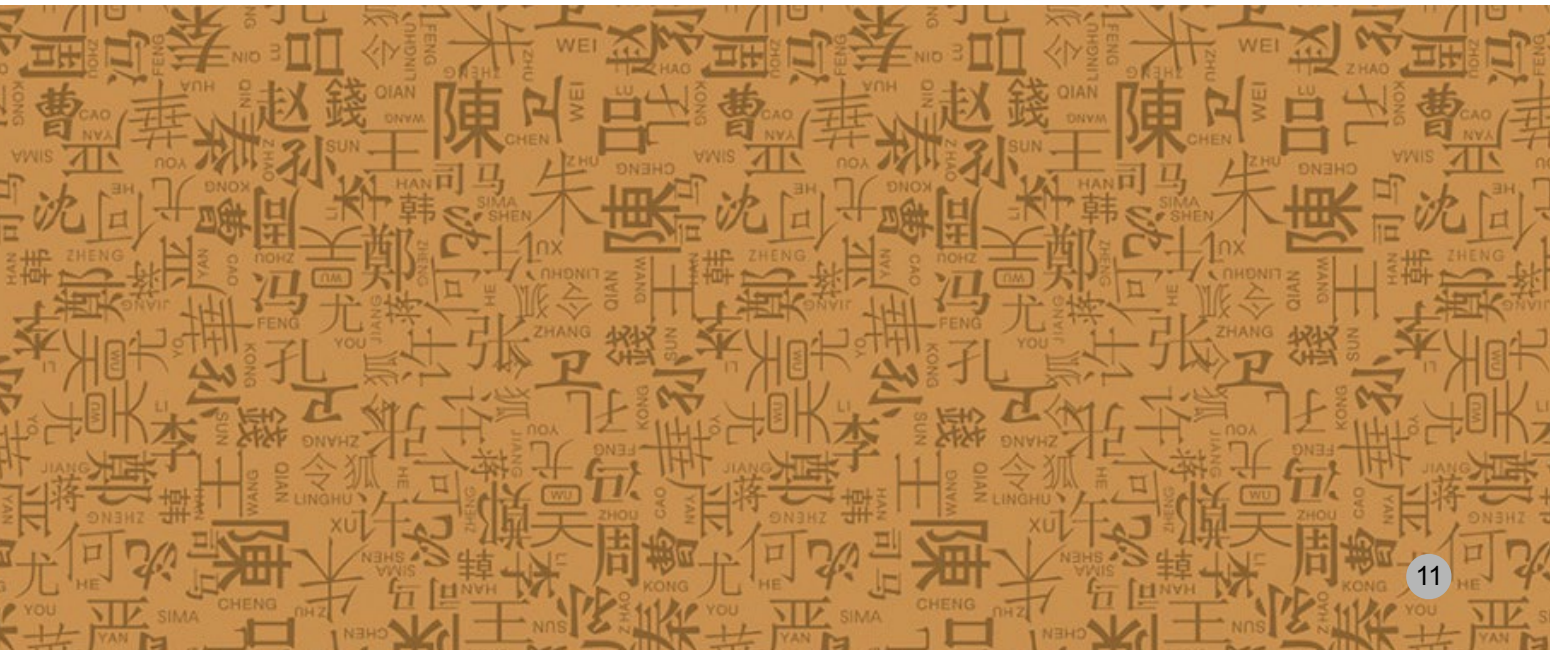


■張怡康

(ちょう・いーかん)

2014年入局。初めて日本語に触れたのは1997年。日本語部では主に木曜日のラジオ番組、SNSプラットフォームの管理、ネットテレビ番組を担当。4月から新たに中国語講座番組「日本で実践!中国語」を開始、「日本で中国人と出会った時に使える中国語」をお届けします。

遼寧省出身。北京第二外国語学院日本語同時通訳専攻卒、ニューヨーク大学大学院修了。



漢詩歳時記

■王洋・高橋恵子

□作品原文と解釈

Yǒng chá Sū Shì
 《咏茶》 苏轼 詠茶(茶を詠ず) 蘇軾

Jūn bú jiàn
君不見

きみ み
君はみず

あなたは、見たでしょうか。

Wǔ yí xī biān sù lì yá
武夷溪邊粟粒芽

ふいけいへん ぞくりゅうめ
武夷溪邊の粟粒芽

武夷山の溪邊の粟粒芽というお茶を。

Qián dīng hòu cài xiāng chǒng jiā
前丁后蔡相寵加

まえ ていあと さいたがいちようか
前に丁後に蔡 相に寵加

丁謂や蔡襄が前後して、おたがいにお

気に入りに加えたお茶。

Zhēng xīn mǎi chǒng gè chū yì
争新买宠各出意

あたらし あらしちよう う かくしゅつい
新しさを争い寵を売ろうと各出意す

新しさを争いお気に入りを売ろうと各

々意見を出し合い、

Jīn nián dòu pǐn chōng guān chá
今年斗品充官茶

ことし どうひん かんちゃ あ
今年の闘品 官茶に充てる

今年の闘茶で官茶を決めましょう。

□作品の背景

今回ご紹介する詩は、青茶、いわゆる烏龍茶の産地として有名な福建省の武夷山のお茶を詠ったものです。

詩に登場する「粟粒芽」は宋の時代、武夷山で最高級品のお茶だったようですが、現在は存在していません。資料によれば、芽を出す時期が早く、小さくて軽く柔らかいお茶だったようです。粟粒の芽と言う字からも、その形状が想像できます。

また、丁は丁謂のことで「建安茶録」を、

蔡は蔡襄のことで「茶録」というお茶に関する本の著者です。2人とも宰相まで出世した北宋の役人でもあります。

闘品とは、闘茶のこと。お茶の良し悪しを競うものです。官茶というのは、皇帝に献上するお茶のことだと思われませんが、ここではどれを献上茶にするか闘茶して決めましょうと詠っています。

コネや賄賂ではなく、お茶について意見を闘わせようというのは、お茶文化が

盛んだったことの証明でもあります。この時代は闘茶のほかに「分茶」という遊びもありました。抹茶にお湯を注ぎ泡立てて、泡の形を雲や山などに見立てたり、泡で文字を描いたりして優劣を楽しむものです。今でいうカフェアート、カフェラテの泡をハートや葉っぱの柄などにすると似ていますね。



□作者紹介

蘇軾(そ・しょく)1037年～1101年。

中国北宋代の政治家、詩人、書家で、東坡居士と号したことから、蘇東坡(そ・とうば)とも呼ばれています。字は子瞻(しせん)。蘇洵の長子であり、弟は蘇轍。この3人に韓愈・柳宗元・歐陽脩・曾鞏・王安石を加えた8人は「古文」の唐宋八大家と呼ばれています。



□王洋からひとこと

4月は新茶が出揃う月。お茶を愛する私にとって、春は1年中で一番幸せな季節です。中日の茶文化には、それぞれの特徴がありますが、古くから伝わってきた茶道の変遷を遡ると、同じルーツにたどり着くと言われています。今回は、美味しいお茶を綴りながら、目でもお茶の魅力を味わえる、そんな詩を選んでみました(王洋プロフィールはP21をご覧ください)。



■高橋恵子(たかはし・けいこ)

学生時代からアナウンサーの仕事をして早35年。

日本語部で働くのは93年～95年に続いて2回目です。この番組「漢詩歳時記」は2013年から始まり気が付けばもう3年です。歳時記のタイトルにふさわしい漢詩をみつけると「やったあ!」嬉しくなります。高校時代ちんぷんかんぷんだった漢詩も今読むと「そうだよね」と共感したり、情景が目には浮かんだり。歳とるって、いいですね。

音声は <http://japanese.china.com/chinese/peotry/> へ。

文字で見る「 中国的「こどもの日」の過

日本の子供の日は5月5日ですが、中国は6月1日が子供の日にあたります。この「国際児童デー」を祝うために、北京の幼稚園や小学校などでは、さまざまなイベントが行われます。ある幼稚園で本格的イベントがあると聞きつけた「北京の表情」クルーは、北京市東城区の幼稚園を訪れました。早速様子を見てみましょう！

ダンス、歌、さらには舞台劇など、大学や高校の文化祭並みの高い完成度にびっくり！

ご褒美としてバイキングでは、タイのお米、焼き鳥、エビの醤



「北京の表情」

ごし方:キッズパワー全開!

油煮、ベーコンとインゲンの炒め物が振舞われます…おいしそう!!

イベントのほか、子供たちの絵画展や、本を交換して読みあうイベントも開催されました。北京の子供たちは、こうしてみんなで一緒に思い出を作り、楽しい一日を過ごしています。

子供たちの元気な様子を、ぜひ動画版「北京の表情」でご覧ください!

<http://japanese.cri.cn/781/2015/07/28/Zt181s239871.htm>

(写真提供:北京市東城区衛生局第三幼稚園)



話 はなし HANASHI 嘸

■文 李順然 ■絵 張紅

夏の山、そして李白の詩

北京にまた暑い夏がやってきました。ネットや量販店でもクーラー、扇風機などがよく売られています。クーラー嫌いの私たち夫婦は、うちわ片手のスローライフでこの夏の暑さに対処していますが、こういった「頑固者」を励ましてくれているのは、詩仙と崇められている唐代の詩人李白(七〇一～七六二年)の「夏日山中」「山中問答」「山中対酌」の「山中三篇」です。そこで今回はそのうちの「夏日山中」をとりあげて「問答」してみましょう。わたしからの暑中見舞いになればいいなと思っています。

夏日山中

白羽扇(はくうせん)を揺(ゆる)るがすも
 嬾(ものう)し(白いせんすを使うのさえ
 おっくうだ)/青林(せいりん)の中(なか)裸
 袒(らたん)す(青々とした林の中で肌脱ぎ
 になろう)/巾(きん)を脱(ぬ)ぎ石壁(せ
 きへき)に掛け(帽子も脱いで石壁に掛け
 よう)/頂(いただき)を露(あらわ)にし松風
 (しょうふう)に灑(そそ)がしむ(頭「おつ
 む」いっぱい松風「まつかぜ」のシャワー
 を楽しもう)

「夏日山中」、わずか二十字の漢字、青青とした山のなかで、一人涼をとる李白の姿がいきいきと詠われているこの名句、四十歳代の李白の都長安(現在の西安)での作品だろうといわれています。

まず長安はとても暑いところ、『陝西自然地理・1981年』によると、西安の七月の平均気温は二十七度近く、最高気温は四十二度近くとなっています。この暑さがこの詩を生んだのでしょうか。

ところで、林の中で李白は双肌脱ぎ、帽子も脱いでいます。長安に入った李白は天宝元年(747年)に、唐第六代皇帝玄宗(685～762年)にその文才を認められ、翰

林供奉(皇帝に直属し文章の起草や意見の具申をする役)という官職に着いています。しかし、持ち前の自由奔放な性格は、宮中のあれやこれやの堅苦しい仕来りに馴染めず、三年後の天宝三年(744年)には長安を離れているのです。

こう考えてみると、李白のこの納涼詩、もちろん長安の暑さから逃れようという一面のあるでしょうが、宮中着用のもったいぶった衣冠をさっと脱ぎ捨て一庶民となり、涼しい松風のシャワーを浴びようという自由人李白の心も感じられるのです。

ちなみに、今回のさし絵「うちわと扇子」、右側二番目が李白の「夏日山中」に姿を見せる鳥の白い羽根で作った「白羽扇」です。



潭柘寺と戒台寺

「夏日山中」を口ずさみながら、長い歴史の歩みのなかで、北京っ子が編み出した北京の特徴にあった納涼法が頭に浮かびました。

まず、夏の北京は日中と朝晩の気温さが十数度もあることです。そこで、北京っ子は朝早く(五時ごろ)家中の窓を開け、寝るまで開けっぱなし、寝る前に開け閉めを適度に調節しています。マンションの十二階に

住んでいるわたしは、この納涼法を大いに利用しており、クーラーを使うのは年に三、四回で済ましています。

もう一つは、海拔、土地の高低差を利用した納涼法です。北京市内の東南部の低いところは海拔三十メートル前後、西南部では八十メートル前後ですが、東、西、北三方は山に囲まれています。なかには、西部門頭溝区の北京最高峰靈山(海拔2303メートル)、北京延慶県の高塔山(海拔2241メートル)といったかなり高い山もありますが、わたしがまだ健脚だった二十年前には、交通の便が悪く、こうした山に涼をとりに行くのは、文字通り「高嶺の花」でした。そこで、夏になると、わりあい交通の便のいい海拔三、四百メートルぐらいの山のなかにある門頭溝区古刹潭柘寺や戒台寺に出掛けて、ここにある松林で李白の「夏日山中」の気分になって納涼していました。

潭柘寺は晋代(265～316年)建立の北京でいちばん長い歴史を持つ古刹。この松林の近くの塔林には、金、元、明、清の高僧の墓塔七十二基が立ち並んでいます。そのなかには、中国各地の寺に歴住した後、ここ潭柘寺に高僧として迎えられ、明の宣德四年(1429年)、ここで円寂した日本の僧無初徳始の墓塔もあります。在華五十余年というこの老僧の墓塔の前に佇み、中日交流の先駆者を偲んだ記憶はいまも鮮明です。BGMにせみの鳴き声が流れていました。

戒台寺は潭柘寺の近く、唐代高祖武徳五年(622年)建立の古刹です。ここは文字通り松のお寺で、境内にひろがる臥竜松、抱塔松、九竜松、自在松などと名付けられたさまざまな風姿の古松で知られています。ここも李白の「夏日山中」の世界にわたしを誘ってくれます。

山と海垞山

海拔二千メートル級の霊山や海垞山に登るのは「高嶺の花」だと書きましたが、これは二十年前の話。昨今では宿泊施設や道路が整備され、健康な人なら誰でも頂上まで登れるそうです。これは、北京放送時代の同僚、机を並べて仕事をしていた李健一君の体験談です。

李君はわたしと同じ八十歳代前半ですが、健康そのもの、いまでも趣味の山歩きに精を出しています。もちろん霊山・海垞山はとっくに踏破しています。李君は「去年(2015年)も海垞山に登ったけど、五月(九日)だというのに頂山近くで雪が降り始め、同行者に子供やお年寄りもいたので、リーダーの判断で下山となった。また登るよ」と日焼けした明るい笑顔で話していました。ちなみに、わたしのメモによると翌十日の北京の最低気温は十度、観測史上最低でした。

普段は口数の少ない李君、だが、山の話、霊山、海垞山の話となると実に雄弁。海

抜が高くなるにつれパノラマのように変わっていく風景、何回も目にした松林、ときどき見かけたりス、野ウサギ、野ヒツジ、キツネ、ノロ……イノシシもいるそうです。両峰とも頂上近くになると景色が一変、広い草原が現われ視界がぱっと広がる……李君の話はカラー映画を観ているように生き生きとしていました。特に海垞山のコースの松樹王など松林の描写は、わたしの頭のなかの李白の「夏日山中」のイメージを大きく膨らましてくれるのでした。

そう、李君の話によると、小海垞山は2022年北京冬季オリンピックでは、アルペンスキーの会場となるそうです。いまのわたしの体力では、霊山、海垞山に登るのはちょっと無理。だが、六年後の北京冬季オリンピックのテレビ中継では、小海垞山の素晴らしい姿を堪能することができそうです。楽しみにしています。

青い森衣冠脱ぎ捨て李白あり
千年の古刹に滲みる蟬の声



■李順然(り・じゅんぜん)

1933年東京生まれ。暁星・明治学院で学び、帰国後北京放送勤務。中国国際放送局(北京放送)元編成局次長。著書に『わたしの北京風物詩』『中国人、文字、暮らし』『日本・第三の開国』(いずれも東京・東方書店)などがある。



■張紅(ちよう・こう)イラスト担当

北京市出身。美術学校を経て、中国美術教育の最高学府である中央美術学院に入学。卒業後は中国指折りの大手出版社・三聯書店のベテランアートディレクターとして活躍している。

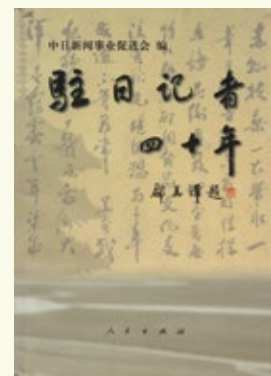
書籍紹介

日本語部の大先輩である李順然先生は、様々な書籍や雑誌に寄稿されています。ここでは、現在入手可能な書籍を二冊ご紹介しましょう。どちらも中国の各メディアから派遣され、日本駐在記者を担当されていた方々が、当時のエピソードをつづった作品集です。



『風雨東京路』

(遥かなる東京の日々-日本報道50年)
人民日報出版社 2016年5月発行 68元



『駐日記者40年』

人民出版社 2004年11月発行 43元

夏と言えば串焼き！

中国の夏の屋台の定番といえば、「串焼き」だそうです。

こんがり焼きあがった肉にかぶりつき、ビールをぐいっと！これだけだと、日本で焼き鳥を食べているのとあまり変わりませんね。一番の違いは、こちらでは羊肉がメジャーだということと、それに合わせたスパイシーな味付けでしょうか。

中国の串焼きを食べてみたい！でも、いきなり屋台料理はハードルが高い…。今日は、そんな方にもオススメのお店を紹介しましょう。張怡康(チョウ・イーカン)アナもおすすめの、「很久以前只是家串店」です！

日本語にすると「その昔、ここはただの串焼き屋だった」となるでしょうか。

長い名前ですね。

北京の人々には前半部をとって「很(hěn)久(jiǔ)以(yǐ)前(qián)(ヘンジウイーチェン)」として親しまれています。「很久以前」は昔話の出だしに使われる決まり文句の一つでもあります。日本語の「昔々…」と同じです。

特色ある内装は過去と未来をモチーフにしているようです。入口ではまず、未来的なロボット(?)が出迎えてくれます。壁にはアンモナイトの化石の意匠も。



好物の「鶏爪子」を持つ張アナ

テーブルにあるのは回る串焼きマシン。串の根元が歯車状になっており、串焼き機の縁を回るチェーンに引っかけて回る仕組みです。これで、まんべんなく串に火が通ります。

羊肉ははずせない定番メニュー。豚肉、牛肉、鶏肉もちろんあります。

中国ならではのものといえば、鶏爪子(jī zhuǎ)(zǐ)はどうでしょうか。鶏の足先です。日本人が初めて見ると「この部分って食べ

られるの!？」と驚くかもしれません。骨周りの肉はプリプリで、コラーゲンたっぷりだそうです。

私と張アナの一押しメニューは「焼きエノキ(烤(kǎo)金(jīn)针(zhēn)菇(gū))」。これは串ではなく、調理されて提供されるメニュー。日本人にも受け入れられやすい味付けで、エノキが好きな人には、むしゃむしゃ食べられてオススメです。



ロボット



回る串焼きマシン

このお店はサラダメニューも充実していました。今回注文したのはフルーツサラダ。実際はフルーツのヨーグルト和えに近く、女性にも喜ばれそうな一品です。複数人で注文すると、店員さんがあらかじめ取り分けて持ってきてくれます。

注文はメニューに記入する形式なので、会話が苦手でも安心です。辞書を引きながら、わいわいと注文を決めるのも勉強になるかもしれませんね。

伝統的な串焼き店の、新たなスタイル。焼いて楽しい、食べて美味しい「很久以前」。

夏の夜に、串焼きとビール！おすすめです。



記入式のメニュー



■梅田 謙(うめだ けん)

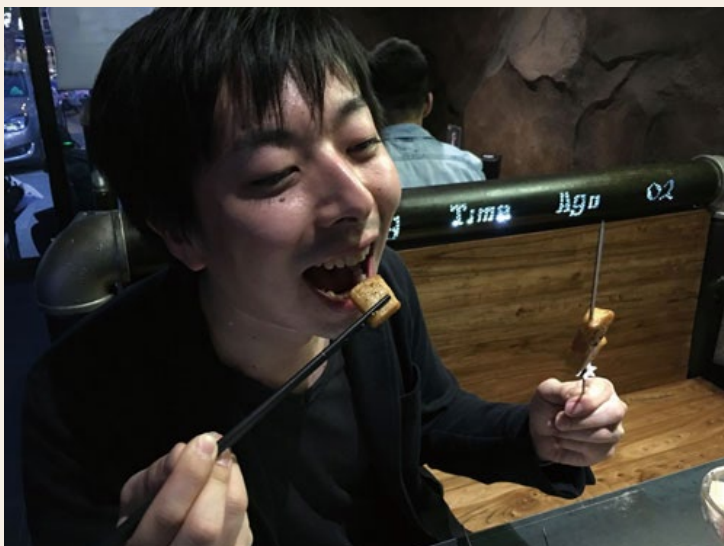
2015年入局。

ニュースの校閲のほか、映像番組出演や「日本人スタッフのつぶやき」コーナーへの寄稿を通して北京の魅力を発信中。

4月から新たに中国語講座番組「日本で実践!中国語」に参加。「日本で中国人と出会った時に使える中国語」をお届けしています。

新潟県出身。青山学院大学経営学部卒業。

はじめての北京、楽しんでま〜す!



いただきま〜す



人物辞典

劉翔 陸上競技選手

■王洋

生い立ち

1983年上海生まれ。身長189センチ。当時、父の姓を姓とし、母の姓を名とするつけ方が流行っていたため、当初は「劉吉」と名づけられる予定だったそうです。しかし、この「劉吉」という名は、北京語で留年を意味する「留級」と発音が同じだったので、親戚からダメだしをされました。その後、彼のおじにあたる人が、丈夫な子に育つようにと願いを込め、「劉強」という名前を提案してみたものの、今度は母親が反対。それも、当時、近所に「強強」というわがままな子どもがいたためとか。最終的に、おじは「劉翔」という名前を出しました。「翔」と「強」は北京語及び上海語で発音が似ていて、「翔」という字は縁起が良く、「飛翔」の意味もあるため、彼の名前を「劉翔」にすることに決まったとのことでした。

スポーツとの出会い

1990年、7歳の劉翔は小学校の陸上競技チームに入り、一時、走り幅跳びの練習をしていました。1996年、100メートル競走の試合に参加した後、劉翔の「走り」の才能が上海スポーツ運動技術学院陸上チームのコーチ・方水泉氏の目に留まり、その指導の下でハードル競争の練習を始めました。そして同年、彼は上海市少年陸上競技選手権大会で、人生初のハードル競争優勝を見事にゲットすることになります。

1999年、劉翔は後に世界チャンピオンへと導いてくれた孫海平コーチと出会い、弟子入り。全国陸上競技グランプリで14秒19の成績で第4位を獲得しました。同年、国家代表チームに入り、チリで行われた世界ユース選手権110メートルハードルで13秒87の成績で第4位になりました。

全盛期

2001年、日本の大阪で行われた東アジア競技大会の110メートルハードルで優勝。翌年、ローザンヌグランプリの110メートルハードルでは13秒12のアジア新記録を樹立しました。

2004年、IAAFグランプリ大阪大会に参加、アメリカの花形選手アレン・ジョンソンを破り、13秒06でアジア記録を再び刷新。同年8月のアテネオリンピック110メートルハードル決勝では、12秒91の世界記録で優勝し、金メダルを獲得しました。

2005年5月、「ローレウス世界スポーツ賞・年間最優秀成長選手」を受賞。



不運な負傷

2006年7月、劉翔はローザンヌ国際において12秒88の世界新記録を樹立しました。10代から世界レベルの記録を出し、以後も順調に成長を続けた早熟持続型の典型的な選手だといわれました。

2008年8月、自国開催となった北京オリンピックで110メートルハードルに出場、連覇が期待されたものの、右足のアキレス腱の怪我の影響から、一次予選で棄権せざるを得なくなりました。

1回はスタートラインに立ちスタートしたものの、このスタートがフライングでやり直しになり、2回目のスタート前に棄権。1回目のスタート時点ですでに右足を引きずっており、競技のできる

に右足を引きずっており、競技のできる状態ではなかったそうです。

その後、傷の回復に伴い、徐々にコンディションを取り戻し、2012年8月、ロンドンオリンピックで110メートルハードル予選に出場しました。しかし、1台目のハードルに左足をぶつけ転倒し、右足アキレス腱を断裂、途中棄権することに。北京オリンピックの雪辱を晴らす事は出来ませんでした。

現役引退へ

2015年4月7日、自身の中国版ツイッター「微博」で、「現役引退は自分自身が何度も何度も熟慮した結果、最終的な決定だ。未練がましくて、つらい

仕方がない」と発表。また、「トラックとハードルが何より大好きで、脚のけがが悔しい。現場を離れ、この2年あまり、毎日毎日悩んでいる。しかし、今日、ようやく決心した。離れることを選び、新しい人生を始めたい」と未来への希望もつづりました。

劉翔の引退について、国家体育総局陸上種目管理センターの杜兆才主任は「劉翔は中国陸上の旗印だ」と称えるとともに、人生の新たなステージで新たな1ページを開くことを祝福しました。また、上海市体育局も劉翔の引退決定を尊重するとして、上海のスポーツ事業への卓越した貢献に感謝するとともに、彼を上海の「都市の英雄」と称えました。



王洋(おう・よう)

2005年入局。2010年2月から2014年7月まで東京支局勤務。現在はニュースキャスターのほか、毎週水曜日の「中日交流カフェ」番組を担当。電波で結ばれた人と人との絆、新たに広がりつつある友情の輪、「草の根」の交流の第一線で活躍している人々の声に耳を傾けます。

北京市出身。北京第二外国語大学日本語学部卒。

■新語で知る中国事情

キーワードチャイナ

■謝東

dī tóu zú 低頭族

英語ではファビング(Phubbing)と呼ばれる「スマートフォン依存症」を指したことばです。日本語では「ウツムキ族」「スマホ族」となるだろうか。モバイル端末に夢中になって、人とのリアルなコミュニケーションを軽視する人々を揶揄している。

友人や家族が目の前にいるのに、スマホばかりに気をとられて、ほとんど話さない人は、まさに「低頭族」。地下鉄の中でも多いが、街を歩きながら、携帯を見たり、弄ったりして、人やモノにぶつかったりする光景もよく見られる。中には、怪我や事故に発展することもあるとか。目や脊椎にもよくないのはもちろん、顔の皺の原因にもなるらしいので注意が必要。



低頭族

huò dé gǎn 获得感

获得感。もともとは利益を得た後に生まれる満足感を指した言葉。

2015年2月27日、習近平国家主席が中国共産党中央委員会改革全面深化指導グループの第10回会議で「改革方案のゴールドの含有率(価値)の高さをはっきりと示し、人民群衆により多くの获得感を与える」と指示したことがきっかけで、この「获得感」という言葉が広く広まった。今や、その応用範囲は広まり、国民が改革の成果を享受する広義の幸福感を指す。

また、この获得感には2つの意味が含まれる。まずは、住宅や収入、教育、医療、養老保険など、物質的で目に見えるもの。そして、夢が実現する達成感や尊厳を持つこと、公平公正に社会権利を持つことなど、目に見えない精神的なものだ。

获得感と幸福感の違いについては、获得感は手に入れること・取得することを強調している。また、获得感は今までにないものを得た感覚なので、いわば測ることができるものだ。その一方、幸福感とは、精神的なものも含まれ、測れないものという理解ができる。

获得感

获得感

nuǎn nán 暖男

お日様のような暖かさを感じさせる、優しい男性のことを指す。一般的に心配りが細やかで思いやりが行き届いている。既婚者なら子供の世話もし、料理も上手い男性がまさに暖男。さらに、他人の気持ちを良く理解することができ、顔立ちもきれいで、特におしゃれという訳ではないが身なりもよい、そうした好感度の高い男性を指している。

現代では、女性の社会的な地位が高くなり、各分野でバリバリ働く女性が続出している。そこで、以前のように男性に保護されたいというより、男性に理解してもらったり、協力してもらいたいと思う女性が増えてきていることが、「暖男」が求められる原因と思われる。



暖男

wǎng hóng 网红

「网络红人」の省略した言い方で、「网络」はインターネット、「红人」はある事件や行動で注目された人、或いは人気を集めた人のこと。「网络红人」として、ある事件や行動によって良くも悪くもインターネットで注目された人を言う言葉で、2015年の流行語トップテンにランクインしている。しかし、「网络红人」になる人は、時代によって違うタイプであることが多い。例えば、当初はブログなど文章で注目を集めた人がほとんどだったが、次に、ネットにアップした写真によって注目され「网络红人」になる人が増えた。そして今のブロードバンド時代では、映像や音楽をアップすることで「网络红人」になる人が主流となっている。そして、中には個人や所属会社、プロダクションの企画で計画的に注目を集める人も増えている。



网红



■謝東
(しゃ・とう)

1992年入局。中国語講座関連の番組「キーワードチャイナ」や「文法ノート」などを担当。言葉は生きものという考えのもと、教えるというよりも、リスナーの皆さんと一緒に勉強していく気持ちで日々努力している。

北京市出身。1992年北京師範大学日本語学部卒業。2004年～2005年慶応義塾大学メディア・コミュニケーション研究所客員研究員。

イチオシ! 中国映画 中国音楽



■閔亦氷(みん・いひょう)

音楽や映画、生活などさまざまなジャンルの番組を手がけ、10年以上ラジオのパーソナリティとして活躍。2015年から日本語部映像担当プロデューサー。カメラを通して中国の最新情報と魅力を発信しています。

北京出身。北京外国語大学日本語学科卒。



三人行 (THREE)

公開日:2016年6月24日
監督:杜琪峰(ジョニー・トー)
主演:趙薇(ヴィッキー・チャオ)
古天樂(レイス・クー)
鐘漢良(ウォレス・チョン)

トップ女優、趙薇(ヴィッキー・チャオ)の『最愛の子(原題:親愛的)』以来2年ぶりとなる主演作。新作は、ポリスアクションで知られる香港の巨匠・杜琪峰(ジョニー・トー)監督がメガホンを取る犯罪アクション『三人行(THREE)』で、6月24日に全国公開予定。趙薇(ヴィッキー・チャオ)と共演しているのは、香港の人気俳優・古天樂(レイス・クー)と鐘漢良(ウォレス・チョン)。ヴィッキー演じる女医、レイス演じる警官に、ウォレス演じる強盗という、身分も立場も違う3人が病院内で繰り広げるストーリー。

6月30日開幕の2016台北映画祭ではクロージング作品として上映された。

再見，在也不見 (Distance)

公開日:2016年5月13日
監督:忻鈺坤(シン・ブーケン) 陳世杰(チェン・シージェ) Sivaroj Kongsakul
主演:陳柏霖(チェン・ポーリン)
楊祐寧(ヨン・ヨウニン)
蔣雯麗(ジャン・ウェンリー)
秦沛(ポール・チョン)

日本でも活動していた台湾の俳優・陳柏霖(チェン・ポーリン)主演の恋愛映画。『イロイロぬくもりの記憶(原題:爸媽不在家)』で頭角を現したシンガポールの新鋭監督・陳哲藝(アンソニー・チェン)がプロデュースを務め、中国大陆・シンガポール・タイから3人の監督がそれぞれ撮り下ろした異なる物語で、陳柏霖(チェン・ポーリン)が一人で三役に挑戦する斬新な恋愛オムニバスとなっている。全く違う3つのキャラクターを演じた陳柏霖(チェン・ポーリン)が、今までにない迫真の演技を見せ付けている。

本作は昨年台湾の映画祭でオープニングを飾り、今年3月から台湾でも公開された。





北京遇上西雅图之 不二情書 (Finding Mr. Right 2)

公開日:2016年4月29日
監督:薛晓路(シュエ・シャオルー)
主演:湯唯(タン・ウェイ)
吳秀波(ウー・シウポー)

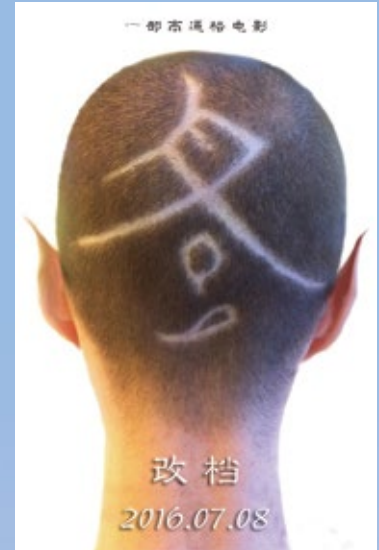
2013年のヒット映画『北京遇上西雅图 Finding Mr. Right』の続編。前作は映画祭「2013東京/沖縄・中国映画週間」の場で、『北京ロマン in シアトル』の日本題で上映された。今回は前作に引き続き、主演に湯唯(タン・ウェイ)と吳秀波(ウー・シウポー)が続投しているが、ストーリーと人物設定は刷新されており、出会いと運命をテーマに主人公2人の恋模様を描いている。メガホンを取っているのは、前作と同じ女性監督の薛晓路(シュエ・シャオルー)。



葉問3 (Ip Man 3)

公開日:2016年3月4日
監督:葉偉信(ウィルソン・イップ)
主演:甄子丹(ドニー・イェン)
熊黛林(リン・ホン)
マイク・タイソン

甄子丹(ドニー・イェン)主演の人気シリーズ『イップ・マン』の3作目。ブルース・リーの師匠として知られる実在の武術家・葉問(イップ・マン)の生涯を描くアクション・カンフーシリーズ。1作目は2008年に制作され、第28回香港電影金像獎の最優秀作品賞を受賞。2011年2月にはその続編が公開された。シリーズを通して葉偉信(ウィルソン・イップ)監督がメガホンを取り、葉問(イップ・マン)役は甄子丹(ドニー・イェン)、その妻の役を熊黛林(リン・ホン)が演じており、日本の俳優も出演している。この3作目はイップ・マンが詠春拳正統派存続のために戦いながら、家庭や身近な人々を守っていくストーリー。米国からマイク・タイソンがイップ・マンの対戦相手役として出演したことで話題となっている。伝説のプロボクサーと中国を代表するカンフースターがどんな戦いを見せてくれるのか、注目したい。



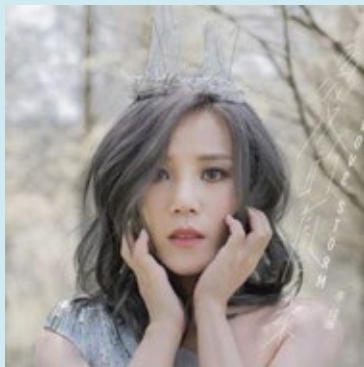
冬 (Seven Days)

公開日:2016年7月8日
監督:邢健(シン・ジエン)
主演:王德順(ワン・ダーシュン)

2015年のモントリオール国際映画祭で好評を博した邢健(シン・ジエン)監督の『冬(Seven Days)』。中国東北部の山中で孤独に暮らす老人が少年と出会い、心を通わせる物語。冬の山奥を舞台とした、白黒で、セリフひとつない、動く水墨画のような映像作品としても注目を集めた。

主演は人気上昇中の俳優・王德順(ワン・ダーシュン)。この作品が監督デビュー作となる邢健(シン・ジエン)は、モントリオール国際映画祭芸術貢献賞を始め、国内外の多くの映画祭で賞を獲得している。





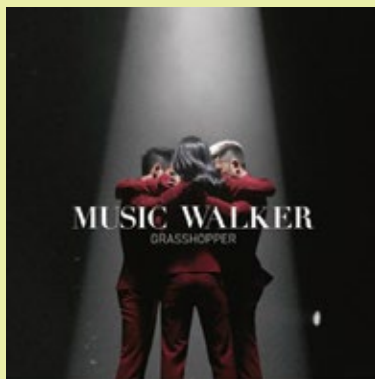
愛的風暴 (Love Storm)
李佳薇(ジェス・リー)
発売日: 2016年5月6日

台湾のオーディション番組「One Million Star」第7シーズンで優勝したマレーシア出身の李佳薇(ジェス・リー)が待望のサードアルバムをリリース。2015年は人気歌番組『I AM A SINGER』シーズン3で圧巻の歌声を披露し、大陸でも人気を集めている。今作は番組出演後発売となった初のアルバムで、収録曲すべてがそれぞれ異なる「気象現象」をイメージした、個性あふれる一枚となっている。リードソング「Snowstorm」や、にわか雨をイメージした「Chain Of Love」、そよ風をイメージした「Nostalgia」、稲妻をイメージした「I Dare You」など、全12曲を収録。

Music Walker音悦行者
草蜢(グラスホッパー)

発売日: 2016年4月22日

伝説のアイドルトリオがカムバック! 香港発の3人組、草蜢(グラスホッパー)が7年ぶりに新作アルバムをリリース。北京語アルバムとしては実に10年ぶりとなる。90年代に活躍し、数々の名作を世に送り続けてきた彼らは今年で結成30周年を迎え、記念すべき一枚を届けてくれた。制作陣には林夕(ラム・チェツ)、黄偉文(ワイマン・ウォン)、周傑倫(ジェイ・チョウ)、王菀之(イヴァナ・ウォン)などそうそうたるメンバーが名を連ねている。あの伝説のハーモニーが復活する感動的なラブソング『完美(パーフェクト)』を含む全11曲を収録。



當我的好朋友
(Be MY Own Friend)
丁噹(ディン・ダン)

発売日: 2016年3月18日

「ドラマの女王」と称される人気歌手、デラこと丁噹(ディンダン)が待望の2016年ニューアルバムをリリース。昨年はプロの歌手が競い合う歌番組『蒙面歌王』への出演を果たし、11月には台北でのコンサートを大成功させた丁噹、遂に、この3月に新アルバムを完成!今作では「ドラマ女王」の名の通り、ドラマタイアップを4曲収録したほか、同レーベルのMP魔幻力量(マジック・パワー)の鼓鼓や家家(ジャージャー)との初コラボを実現。1stOAトラック「想恋一個愛(恋したくて)」は、タイのロックバンド・Slot Machine、韓国の著名な音楽プロデューサー・Jae Chongを迎え、人気作詞家の陳沒が詞を書き下ろした痛快なアッパーチューンとなっている。



Intrepid大無畏
吉克雋逸(サマー・ジーク)

発売日: 2016年5月16日

2012年に音楽系リアリティ番組『中国好声音(the voice of china)』でトップ4に入賞しデビューのチャンスをつかんだ吉克雋逸(サマー・ジーク)が満を持して2ndアルバムをリリース。今作では神奇先生、姚謙、劉偉徳、URU、呉夢琪など国内の名クリエイター陣が脇を固め、サマーが新たな音楽ジャンルにチャレンジしている。中国民族風アレンジが印象的な先行シングル「游愛民族」、北京語と英語のダブルバージョンで制作したダンスナンバー「BOSS」など全9曲を収録。「BOSS」のMVでは欧米系歌姫を思わせる大胆なダンスも披露!

周傑倫的床邊故事
(Jay Chou's Bedtime Stories)
周傑倫(ジェイ・チョウ)

発売日: 2016年6月24日

中華圏が熱望する周傑倫(ジェイ・チョウ)の2016年最新アルバムが遂にこの6月にリリースとなった。クラシックやソウル、ロック、ヒップホップなど様々な要素をジェイならではの「音楽感性」でブレンドした奇想天外な一枚。童話の世界をイメージにジェイ・テイストが堪能できるタイトルチューンや、以前から楽曲提供で親交のあるA me iこと張恵妹(チャン・ホイメイ)とデュエットした究極のバラード「不該」、2013年に話題となった怪盗映画『グランド・イリュージョン』の続編『グランド・イリュージョン 見破られたトリック(中国題:驚天魔盗団2)』の世界キャンペーンソング「Now you See me」などを含む全10曲を収録。この10個の「音楽物語」をに耳を傾けながら、ジェイのカラフルな音楽ワールドへと誘われていくのだ!



有理想 (AN IDEAL)
李榮浩(リー・ロンハオ)

発売日: 2016年1月22日

大陸を拠点に歌手、音楽プロデューサー、ギタリストとして活躍中の李榮浩(リー・ロンハオ)が2014年11月の『李榮浩』以来約1年3ヶ月ぶりに待望のサード・アルバムをリリース。長年ソングライターとして活動して来たことから、流行に敏感で音楽に特別な感性を持っているロンハオ、この新作で新たな「理想の音楽」に挑戦。自らの人生経験をいっぱい詰めた「満座」や野生と感性に満ち溢れる「野生動物」、黄曉明(ホアン・シャオミン)、楊冪(ヤン・ミー)主演映画『マイ・サンシャイン〜何以笙簫默〜』のエンディングテーマ「不将就」など全10曲を収録。

CRI「紅白歌比べ」40周年記念特別企画「中日歌唱コンテスト」



出場者大募集



毎年恒例の年越し番組「CRI紅白歌比べ」は今年で40周年を迎えることとなりました。その節目を記念する特別企画として、CRI日本語部では両国の方々にご出演いただく「中日歌唱コンテスト」を開催することを決定しました。

国籍・性別・出身地を問わず、一般の方々にご出演いただくのはもちろんのこと、今回のコンテストではステージの様子がCRI中国国際放送をはじめ内外の主要メディアで同時配信される予定です。のどに自信のある皆さん、是非奮ってご応募ください!

—応募要領—

今回も今までどおり、中国人の方には日本語の曲、日本人の方には中国語の曲でエントリーして頂きます。エントリーされた方は、まずインターネット投票と予選を経て、合格した方の中から決勝戦のステージに立つ10名(組)が選ばれます。

また、決勝進出の方々には白組と紅組に分けて歌のバトルを展開していただき、プロの専門家による審査も行われます。

(一) 出場者登録: 2016年7月29日(金) 〆切。

(二) インターネット投票: 2016年8月1日(月) ~ 2016年8月31日(水)。CRI日本語部のWECHATにて実施。

(三) 予選: 2016年9月下旬(日にちと場所は改めてご連絡します)。

(四) 決勝戦: 2016年12月上旬(日にちと場所は改めてご連絡します)。

—応募方法—

中国人は日本語楽曲を、日本人は中国語楽曲を選び、2016年7月29日(金)までに氏名/国籍/性別/年齢/職業/連絡先を明記の上、写真(顔が分かる正面写真)と自ら歌ったものを録音または録画したファイル(試聴リンクも可)を下記のメールアドレス宛にお送りください。

riyubu@cri.com.cn



東方新報

徹底して“オリジナル”を追求します。

《東方新報》は1995年に創刊。日本全国に発行され日本で最も影響力のある華文メディア社です。また当社新聞は、中国南方航空の日-中便すべての機内紙として搭載している日本で唯一の会社です。オリジナルティある報道を堅持し、最大の真実、オーソリティを追求し続ける、最も新鮮な日本および華人社会のニュースを提供しております。

《東方新報》WeChat



《東方新報》WEB



上のQRコードをスキャンしてください。



定期購読：半年 6,000円
定期購読：一年 9,800円
定期購読：二年 19,600円

お申込みはこちら ☎ 03-3981-2701 (平日 AM9:00~PM6:00)

■発行 日本華伝媒株式会社
■編集部 03-3981-2705
■投稿メール tougao_xinbao@163.com
■WEB <http://www.livejapan.cn>

■広告総代理 株式会社 東方インターナショナル
■電話 03-3981-2701 FAX 03-3981-2706
■住所 〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-23-2-6F
■振込口座 りそな銀行池袋支店(普) 5116180 名義:トウホウシンポウ



■ SNSで観るCRI (各SNSプラットフォーム)



@CRI日语频道



@CRIJpn



CRI日语频道



CRI日本語



CRI日语部



YouTubeアカウント
CRI日本語



CRIの人気番組をPodcastでも配信中!

iTunesや対応アプリから「CRI」で検索。

配信番組: CRIニュース、ハイウェイ北京、中国語講座 ほか